

令和2年 10月号

家庭教育学級

のびっこ

恵那市生涯学習課

社会教育指導員 堀



## 『おひさしぶり!!』に込められた学級生の思い

9月から恵那市のコミュニティセンター全館で、乳幼児期の家庭教育学級が開級しました。学級のお世話をしてくれる主事さんたちは「コロナのことを考えると、ぜひ来てねとは言えない難しさを感じます」と頭を悩ませています。開級式当日、主事さんや主任児童委員さん、塾長さんや所長さんまで学級生が来館するかどうかを気にしながら待っていました。

すると、どうでしょう!! 予想に反して、どの館も満面の笑顔で元気な親子が集まってきました。ママ友同士「お久しぶり!! なかなか会えなかったね」「驚いた! 大きくなったね」と互いに抱っこしている子どもの顔を見ながら、あいさつを交わしています。巣ごもり期間の子育ての大変さがわかっているので、お互いにいたわりの気持ちが湧いてくるのでしょうか。

学級が始まり、自己紹介の時間になりました。学級長になった母親が「私はこの中で一番長く乳幼児期の家庭教育学級に通っています。上の子の時からなので5年以上になります。今までは学級に来ることをあまり深く考えたことがなかったけれど、コロナを体験して感じたことは学級の存在です。当たり前と思っていたことが叶わなくなったときになって初めて“学級”という出かけられる場のあることはいいことだと気づきました」と話すと、全員がうなずいています。学級生にとって、乳幼児期の家庭教育学級は大きな存在だったことを気づかせてくれる言葉でした。

この後、塾長さんが開級式の挨拶をしました。「どの人も『おひさしぶりです』とあいさつをしていました。『こんにちは』ではないところに、みなさんの気持ちが表れています。本当に長い間、どこにも出かけられないまま子育てしていた苦勞が伝わってきます。お母さん方がこの学級で仲良しになってほしいです。そして“〇〇(地区の名前)らしい地域づくり”をめざし盛り上げてください。いい環境を作って、子どもたちに渡していけるよう、お互いに努力してほしいと思います」と素敵な話をしてくれました。

「長く感じた6か月余り。元気が一番。参加できるときに学級に来てください。決して無理しないようにして『できるときに、できることを、できるだけ』を大事にした生活をしてください」

## 巣ごもりもキラキラタイムで楽しんじゃおう NO2

「のびっこ」9月号に書いた“手作りおもちゃのよさと楽しみ方”の続きを紹介します。我が子の喜ぶ姿を思い描きながら手作りおもちゃに挑戦していると、いつの間にかママのそばに来ていた子どもも「自分もやりたい!」と真似をしたがることでしょう。

この時間が手作りおもちゃのいいところです。親子で一緒に作るふれあいタイムを満喫することができるからです。ママは「喜んでくれるといいなあ」とワクワク感を持つことができるし、子どもは心を込めておもちゃを作ってくれているママの愛情を感じます。少し気を付けなければいけないことがあります。それは安全面です。安全に遊べるものを作ります。一人で遊ばせておくと誤飲の危険にもつながりますので気を付けてください。



## 佐藤一斎先生の『言志四録』の教えを子育てに生かす

ひと おのおののう あ  
人は各能有り。

きし な  
器使すべからざる無し。

いちぎ いちげい みなしり ぐう  
一技一芸は、皆至理を寓す。

(言志後録216条)

人には、その人なりの能力や才能(長所)が備わっています。才能に見合った、活躍できる場所があるのです。

長所を伸ばし、自分が活かせる場所を見つけることができれば、この世に生を受けた理由も見つかるはず。ただ、努力をしない者には才能は開花しないことを忘れないことです。

あなたを活かす場所が、必ずあります。  
「自分なりの能力を発揮できるようになろう！」



エーナちゃん

## ママはインビジブルヒーロー！・我が家のヒーロー！

“インビジブル”とは聞きなれない言葉ですよ。ちょっと調べてみました。インビジブルは“invisible”という英語の発音をカタカナに置き換えた言葉です。“invisible”には「見えない」という意味があるそうです。もう少し詳しく調べてみると「ほかのもので隠されていて視認できない」や「透明なので目に映らない」などの意味も含まれるそうです。「気づかれない」とか「隠れた」という意味合いも考えられますね。言葉の意味から考えると、子育てを行っているママは“インビジブルヒーロー”といえそうです。

毎日、忙しく家事や育児に追われて、“自分”を忘れてしまいがちです。ポッと空いた時間に「私は親として、うまくやれているのかしら？ 私って、ダメなんじゃないのかな」なんて、とんでもないことを考えていませんか。

「大丈夫です。大丈夫なんですよ。だって、ママはインビジブルヒーローなんですから」家族のみんなが当たり前になっている陰に、ママのすごい働きや力が隠されていることに気づいていません。家族みんなの健康に気を使い、明るく元気に過ごせるように心の支えになっています。

ママに、ほんの少し足りない部分といえば……  
自分で自分をほめていないことです。懸命に生きている自分の存在を認め、「できているじゃない！」と思えることが大切です。

